



三酸化アンチモンのEUリスクアセスメント報告書第一次草案発表！

スウェーデンの担当機関であるKemIは、2004年7月、三酸化アンチモンに関する非公開の公式リスクアセスメント報告書（RAR）第一次草案を発表した。スウェーデンはこの報告書で、ヒトの健康と環境の両方に対して、禁止分類を提案した。産業界と加盟国は、2004年9月30日までに欧州化学品局（ECB）に対して、この報告に対するコメントを提出することが出来る。KemIが第1回目のコメントを経て、報告書を修正する時間を勘案すると、ヨーロッパ加盟国間での最初の討議は早くても12月になると予想される。今回のRARには、三酸化アンチモンの生産と使用に係るリスクに対する、スウェーデン担当機関の暫定的な評価が反映されているにすぎない。今回のRARは加盟国間で議論され、その結果によって修正され、また、データギャップをうめるためには追加データが提出されることから、最終報告書ではない。

今回のRAR草案は、三酸化アンチモンが現在使用されていることに直ちに影響を与えるものではない。

ATO生産者と製品業界はEUのリスクアセスメントプロセスを完全に支持しており、いかなるデータギャップもうめていくこと、データの科学的評価によって明らかに正当化されるリスクマネジメント措置であれば追加的に実施することを約束している。EUリスクアセスメントは2005年末ないし2006年に終了する見通しである。IAOIAは入手可能な科学的データに基づいて、リスクアセスメントは市場に及ぼす影響が最小限にとどめられるべきであると信じている。

中国に対し三酸化アンチモンのリスクアセスメントプロセスの責任を果たすよう求める

IAOIAは2004年8月、中国のアンチモン業界に対して、IAOIAに加盟し、三酸化アンチモンを擁護する責任を果たすよう再度説得した。現在三酸化アンチモンは、産業界も参加して、化学物質のデータ収集と評価についての手順と管理を確立するEC法（規則No. 793/93）に基づくリスクアセスメントの対象となっている。中国は三酸化アンチモンの原料である金属アンチモンの世界最大の供給国であり、三酸化アンチモン生産の世界シェアに見合う責任を有している。従って、中国はリスクアセスメントにおいて応分の経費を分担すべきである。三酸化アンチモンのリスクアセスメントが最も有効で科学的な方法と手順に基づくことを保証する取組みに世界中のすべての生産者とユーザーが参加することは絶対的に重要である。

2004年のEUリスクアセスメントの日程

- 8月31日 産業界内でのコメントの期限
- 9月30日 リスクアセスメント草案に対する欧州化学品局（ECB）へのコメントの期限
- 12月 EU加盟国による技術委員会（TC-NES）でのリスクアセスメント報告書の最初の討議

今後の行事予定

- 11月18日～19日 IAOIA / ATOS会議（ブリュッセル）
- 11月30日又は12月3日 イタリアのアロナでの技術委員会（TC-NES）の会議
：ATOのリスクアセスメント報告が議題になる予定。

国際酸化アンチモン協会（IAOIA）の使命

国際酸化アンチモン協会の使命は、アンチモン物質及びその用途における環境、健康、安全規制問題について、世界中のアンチモン生産者、消費者、その他関係者の共通の利益に貢献することである。

IAOIAの活動は会員により決定され、アンチモン物質の安全性及び有用性に関する研究の実施、情報の普及、政府当局に提出する化学情報の作成などからなる。

三酸化アンチモン利害関係者グループ：（ATOS）

最近、アンチモン生産者とユーザーのグループは、EUのリスクアセスメントプロセスに必要な三酸化アンチモンの科学的評価を共同で行うことに合意した。三酸化アンチモン利害関係者（ATOS）グループは運営グループ、科学グループ、規制当局連絡グループにより構成される。すべてのグループ共に生産者と川下ユーザーで構成される。最初の公式報告書草案の発表以降、川下ユーザーの役割はさらに重要になっている。我々は顧客の支援も得て、三酸化アンチモンのより安全な生産、マーケティング、使用を支持するものである。ATOSは三酸化アンチモンの生産と使用に関して起こり得るいかなるリスクも、純粋に科学的な事実に基づいて、ヒトや環境へのリスクを引き起こすことなく効果的に管理できることを加盟国に納得させていく。WHO（世界保健機関）とEFSA（欧州食品安全局）が最近行った三酸化アンチモンの毒性学の検証結果は、スウェーデン当局の第一次検証の結果と一致していない。それどころか、WHOとEFSAはそれぞれ、アンチモンに関する飲料水ガイドラインと食品中の基準値を緩和した。WHOとEFSAの報告以降、ATOの分類とラベリングの再検討を提案するリスクアセスメント報告書草案を支持する新たな科学的データは生まれていない。

我々は、生産者とユーザーとのネットワークの構築を通じて、将来、肯定的な成果を得るために不可欠なデータに関する情報交換を保証するものである。

三酸化アンチモンのリスクアセスメントが肯定的な成果となることに興味を持ち、科学的な支援において我々を支援しようとお考えであれば、どうか以下にご連絡下さい。

IAOIAの事務局長：Karine Van de
運営グループの議長：Geert Krekel
科学グループの議長：Tessa Serex
規制当局連絡グループ議長：Dieter Drohman
彼等の連絡先の詳細は下記の通り。

The IAOIA Members

In the USA / Europe organization:

Campine
GLCC Laurel, LLC
Penox SA
Produits Chimiques de Lucette
Sica

The IAOIA Associate Members

Albemarle Corporation
Dead Sea Bromine Group (DSBG)
Helm AG
Durr Marketing Associates, Inc.
Goldmann GmbH & Co
Consolidated Murchison / Metorex Ltd.

日本鉱業協会Sb環境安全対策協議会メンバー：

日本精鉱株式会社
山中産業株式会社
東湖産業株式会社
日産化学工業株式会社
賛助会員：
株式会社 鈴裕化学
第一エフアール株式会社

これらの企業は、アンチモン製品市場を守るために、政府機関への適切な対応及び信頼出来るデータの開発や提供などの活動に奮闘しています。活動費用や人的貢献はこれらの企業が分担しています。貴社は、これらの企業をビジネス相手として選択することによって、我々の業界を支援することになります。貴社がアンチモン製品の生産者、流通業者、消費者であり、こうした取り組みに貢献する意志がおりなら、IAOIA、日本鉱業協会または会員企業にコンタクトして頂きたい。

IAOIA 組織

役職	氏名	e-mail アドレス	電話番号
議長	Dave Sanders	dsanders@glcc.com	+ 1 765/427 1859
副議長	Geert Krekel	geert.krekel@campine.be	+ 32 14 601 507
経理	Tom Bellanti	Tom_Bellanti@oxy.com	+ 1 281/461 6588
事務局長	Karine Van de Velde	Karine.vandevelde@campine.be	+ 32 14 601 578
毒性学者	Tessa Serex	tserex@glcc.com	+ 1 765/497 6637
日本Sb環境安全対策協議会議長	町田博治	machida@nihonseiko.co.jp	+ 81 3 3235 0031